

3学年通信

尾道市立高西中学校
3学年通信第18号
令和2年6月22日

出迎え三步、見送り七歩～「おもてなし」の心を～



今週の特別の時間「道徳」では、「出迎え三步、見送り七歩」という資料を読み、「おもてなしの心」について考えました。

「出迎え三步、見送り七歩」とは三步前に出て人を出迎え、後ろから七歩ついて見送るという日本

の「おもてなしの心」から生まれた礼儀作法のことで。

自分の思う「大切なお客様を出迎え方、見送る時方」と筆者の考える「もてなしの極意」と比較することを通して、お客様と接する時の心構えを考えたり、「もてなすこと」とはどのようなことだろうかをじっくりと考えたりと、「おもてなしの心」について考えひたった1時間でした。

人と会う時、約束の時間より早く家を出て、あちこち歩き回ってからその場所に行くことを習慣にしている私。

あるとき、うろうろ歩きすぎて時間に遅れてたどりついたときがあった。急ぎ足で近づくと、その人が玄関口に立っていた。二、三步からだを運んでくる。私は胸をなでおろし、いつもの喫茶店へ誘った。一時間ほど話合い、挨拶を交わして立ち上がった。そのまま辞去するつもりでエントランスにむかうと、その人も私のあとをついてきた。私は恐縮して立ち止まり、あらためて礼を述べた。すると、控えめな声で「出迎え三步、見送り七歩といいますから…。」

「もてなし」という大和言葉がある。今風に言えば「ホスピタリティ」。国際語としての「ホスピタリティ」と大和言葉の「もてなし」のあいだには違ったところではないかと思っていた私は、この作法こそまさに「もてなし」の極意ではないかと腑に落ちた。

【道徳の資料より】

【感想より】

- ・お客様と接する時に限らず、他の生活につなげていきたいと思った。日本のおもてなしはすごいと思った。
- ・自分がしたいということだけではなく、相手の気持ちを考えて接したり、行動したりすることが大事なんだと思いました。もてなされる人ももてなす人に応えることが大事なんだなと思いました。
- ・自分が良いと思うことをすぐするのではなく、相手がそれをされてうれしいかどうか考えることが大事で、良いと思ったら行動するといいなと思います。高校説明会に来てくださる人たちに、「教えてよかったな」と思うような立ち振る舞いをしようと思います。
- ・自分の気持ちを表に出すことは大切だけど、出し過ぎたら逆に相手にプレッシャーを与えてしまうから、自分でコントロールすることが大切だと思う。自分のことばかり考えて、自分の意見ばかり発するのではなくて、相手の気持ちも考えてしっかり周りの人の意見を聞くことを心がける。
- ・相手をもてなすには、優しく接したり、落ち着いていたり、言葉遣いが丁寧であったりすることが大切だと分かった。もてなされる側は、対応の仕方、うれしくなったり、不快に感じたりすることもある。相手の気持ちを考えてもてなすことが大切だと思った。

総合的な学習の時間の感想、日々の授業の振り返り、そしてこの道徳で考えたことなど、みなさんが書いているものを読んでいると、「自分自身の生活を振り返って」考えたり、「自分自身の生活とつなげて」考えたりしている人が多いなと感じます。素晴らしいことだなと思います。その「学び」や「学んで考えたこと」を「自分の行動」につなげることで、それは本物になります。みなさんの感想にもあるように、自分に対する「相手」に対して、「おもてなしの心」を向けることができたなら「よりよい関係」が築けそうですね。「お客様と接する時の心構え」としてみなさんが挙げた「人と接する時の距離感」、「相手の気持ちを考えること」、「言葉遣い」等、日頃から意識していきましょう。